

心理学の幅広さ知る市民公開シンポジウム開催 【10月13日・14日 東広島市市民文化センター】

広島国際大学（学長：焼廣益秀）心理学科は10月13日と14日、東広島市市民文化センターで、公益財団法人東広島市教育文化振興事業団・公益社団法人日本心理学会「認定心理士の会」との共催による「市民公開シンポジウム」（入場無料）を開催します。

本シンポジウムは、心理学が日常のあらゆる場面に関わっている、身近な学問であることを広く知ってもらうために、同学科が企画しました。同学科の教員をはじめ、比治山大学、広島大学、福山市立大学、福山大学、安田女子大学の各大学から、多彩な分野の専門家が講演。心理学の幅広さを知ることができます。

つきましては、概要をお知らせしますので、事前告知ならびに取材で取り上げていただきたくよろしくお願ひします。

.....【概要】.....

1. プログラム：2018年10月13日（土）15：00～16：40
市民公開シンポジウムⅠ「身近で役立つ心理学」
 - ①ヒトのウソとウソ発見：犯罪心理学の視点
 - ②夢をみる仕組み：生理心理学の視点
 - ③スリルのある遊びをめぐる大人の認識：発達心理学の視点
 - ④周囲との人間関係で苦しめないコツ：社会心理学の視点2018年10月14日（日）13：00～15：00
市民公開シンポジウムⅡ「未来を創る心理学の活かし方」
 - ①目はこころの窓 -視線で読み解く心、視線で伸ばす心-
 - ②心理学における心の調べ方 -来し方と行く未-
 - ③行動はうつを癒し健康を作る -行動活性化療法の紹介-
 - ④変化する絆のはたらき -求められる信頼の形、変えるべき愛情の形-
2. 場 所：東広島市市民文化センター（東広島市西条西本町28番6号）
3. 申し込み先：公益財団法人東広島市教育文化振興事業団
TEL:082-424-3811、FAX:082-423-5251、
E-Mail:center01@hhface.org
4. 申し込み方法：FAX、E-Mail、電話のいずれかで。【中国四国心理学会第74回大会 市民公開シンポジウム参加希望】と明記のうえ、【氏名（フリガナ）・電話番号・参加人数・両日もしくは1日の参加】を添える。

■取材のお申し込みおよび内容に関するお問い合わせ先

学校法人常翔学園 広報室（坂井） TEL：0823-27-3102 携帯：090-3038-9927

市民公開シンポジウム

日時

2018
10/13^土 - 14^日

会場

東広島市市民文化センター
アザレアホール

〒739-0043 東広島市西条西本町28番6号
JR西条駅南口より徒歩約10分

家庭、学校、職場、日常生活の些細なことのなかにも、心理学のテーマが満ち溢れています。本大会では、一般の方や生徒の皆さんに「心理学」の身近さや実用性、将来性を感じていただくために、二つの市民公開シンポジウム(無料)を企画しました。心理学に関心のある皆様のご参加を、こころよりお待ちしております。



中国四国心理学会
第74回大会

中国四国心理学会第74回大会

大会長 田中 秀樹 [広島国際大学心理学部教授]

1day

入場無料

市民公開シンポジウムI

身近で 役立つ 心理学

日時

2018
10/13^土 15:00-16:40
[14:30開場]

司会 菱村 豊(広島国際大学心理学部)

「心理学」は多様な視点から人間の「こころ」の不思議、面白さを探究します。このシンポジウムでは、様々な分野の心理学の教員に登壇いただき、それぞれが専門とする心理学分野の中でも、特に「身近に役立つ」内容を、高校生や一般の方にもわかりやすく解説いただき、心理学の学問的面白さに触れていただきます。

4名の先生から、ひとり20分程度の話提供をいただきます。その後15分程度、フロア全体からの質問などを受け付け、議論を深めます。

1 ヒトのウソとウソ発見：犯罪心理学の視点

平 伸二先生(福山大学人間文化学部)

私たちが発達段階で身につける「ウソ」は、生活を楽しく、豊かにする側面があります。しかし、犯罪の隠蔽に使われる「ウソ」は、見逃すことができません。日本の「ウソ発見」の方法は、世界で最も妥当性が高いと言われています。それは、犯人の脳に刻まれた、犯行に関する記憶をモニターしているからです。そこで、日本の「ウソ発見」の実際と脳機能研究を紹介し、その方法が医療や産業の場面でも貢献する可能性を示します。

2 夢をみる仕組み：生理心理学の視点

小川景子先生(広島大学大学院総合科学研究科)

私たちはなぜ夢をみるのでしょうか？夢に意味はあるのでしょうか？不思議だらけの夢は、科学的検討が始まってまだ60年程度です。およそ20年前には寝ている間の脳活動の様子が画像で検討できるようになり、脳(体)が夢という心理体験を生み出すことがわかってきました。本講演では、これまでわかってきた夢をみる仕組みについてご紹介するとともに、夢と「こころ」の関連について考えていきたいと思います。

3 スリルのある遊びをめぐる 大人の認識：発達心理学の視点

倉盛美穂子先生(福山市立大学教育学部)

近年、保育・教育現場では、怪我や事故を減らすために、リスクマネジメントが行われるようになってきました。その一方で、過度な安全性の追求も問題視されつつありますが、その根拠は十分ではありません。そこで、スリルのある遊びをめぐる大人の認識と子どもの心身の発達との関連に関する知見を紹介し、現代の子育てや保育の在り方について考えていきたいと思います。

4 周囲との人間関係で苦しめない コツ：社会心理学の視点

中島健一郎先生(広島大学大学院教育学研究科)

私たちは、ひとりで生きているわけではありません。程度の差こそあれ、周囲の人々とかかわりながら生活をしています。社会心理学はそのような日常生活を切り取り、研究を積み重ねることで発展してきた学問です。「周囲との人間関係で苦しめないコツ」をテーマに、「環境(状況)が私たちの行動を変える」、「お金や地位のせいで人は他者の気持ちが分からなくなる」の2つのトピックスについてお話します。

2day

入場無料

市民公開シンポジウムII

未来を創る 心理学の 活かし方

日時

2018

10/14

日

13:00-15:00
[12:30開場]

司会 西村 太志(広島国際大学心理学部)

「心理学」には、これからの我々の暮らしや社会をよりよくしていくための「知恵」を与えてくれるノウハウがたくさん詰まっています。このシンポでは、様々な分野の心理学の教員に登壇いただき、それぞれが専門とする心理学分野の中でも、特に「これからの暮らしや未来」に役立つ可能性のある最新の心理学的研究や手法について、高校生や一般の方にもわかりやすく解説いただき、心理学の学問的面白さに触れていただきます。4名の先生から、ひとり20分程度の話題提供をいただきます。その後指定討論の先生から、各話題の要点や全体的な質問を行っていただきます。その後、フロア全体からの質問を受け付け、議論を深めます。

指定討論者 古満伊里先生(広島修道大学健康科学部)

1 目はこころの窓

—視線で読み解く心、視線で伸ばす心—

吉田弘司先生(比治山大学現代文化学部)

目は感覚器官として重要なだけでなく、心の中で行われているさまざまな認知活動を探る覗き窓として使うことができます。この話題提供では、目からどのような情報を読み取れるのか、実際に装置を使って見てみます。また、このような技術を応用して、障がいのために発話ができない子どもたちがどのように物事をとらえているのかを調べたり、ゲームを楽しんだり、言葉や文字の学習を支援する事例を紹介して、その可能性を探ります。

2 心理学における心の調べ方

—来し方と行く末—

藤原裕弥先生(安田女子大学心理学部)

心理学では、心は実態のない目に見えないものであるため、直接調べることはできないと考えられてきました。そこで、人々のふるまい(行動)やアンケートへの回答を通じて、間接的に人の思考や感情などの「心」を調べてきました。しかし、現在、脳科学や人工知能の発達によって、人々の心の中を直接知ること成功しつつあります。この方法によって、心理学だけでなく、広く社会全体の発展に貢献する可能性を探ります。

3 行動はうつを癒し健康を作る

—行動活性化療法の紹介—

首藤祐介先生(広島国際大学心理学部)

近年、うつ病に対する認知行動療法の一つとして、行動活性化療法が脚光を浴びています。これは行動から否定的な考え方や感情を変える心理療法で、従来の認知行動療法よりもシンプルな方法でありながら、同等に効果的であることが明らかになっています。また、うつ病の人のみならず健康な人の幸福や生活の質向上に役立つ可能性が示されています。行動活性化療法の精神障害と健康増進に対する可能性を探ります。

4 変化する絆のはたらき

—求められる信頼の形、変えるべき愛情の形—

相馬敏彦先生(広島大学大学院社会科学部)

社会構造の変化に伴い、非正規として雇用される人が増加しています。このため組織の現場では、安定した立場は提供できないけれども組織のため忠実に働いてくれる人材の確保、というマネジメント課題に直面しています。一方、安らぎを求めてつきあいを始めた関係がいつの間にか暴力の温床になる、というDV(夫婦や恋人間での暴力)も現代社会で解決されるべき課題の一つです。これら二つの課題は、前者が組織と従業員との弱すぎる絆の問題であり、後者が親密な二人の間での強すぎる絆の問題だと捉えることができます。とすれば、絆をめぐる心理学の知見によって解決への糸口が見えるかもしれません。

共催:公益財団法人 東広島市教育文化振興事業団 共催:公益社団法人 日本心理学会「認定心理士の会」(予定)

問い合わせ先 ※お問い合わせはできる限りe-mailでお願いします

中国四国心理学会 第74回大会実行委員会 事務局

〒739-8521 東広島市黒瀬学園台555-36 広島国際大学心理学部
TEL:0823-70-4851(学部事務室代表) E-mail:cspa74hiu@gmail.com
担当:西村太志、菱村豊、首藤祐介

申し込み先

公益財団法人 東広島市教育文化振興事業団

〒739-0043 東広島市西条西本町28-6
TEL:082-424-3811 FAX:082-423-5251 E-mail:center01@hhface.org

※参加ご希望の方は、【中国四国心理学会第74回大会 市民公開シンポジウム参加希望】と明記し、①氏名【フリガナ】、②電話番号、③参加人数、④シンポジウムI(10月13日)、あるいはシンポジウムII(10月14日)に参加、シンポジウムI、IIの両方に参加。以上をご記入の上、FAX、E-mail、電話のいずれかにてお申し込みください。
※なお、公開シンポジウム以外の時間帯に開催されている中国四国心理学会74回大会の行事に参加する場合、参加費が必要です

会場MAP

